

## ◆今期間のポイント

## ＜主要じょう乱の概要＞

- 10日は、低気圧が日本海を北東へ進み、前線が日本付近を東進する。
- 11日から12日にかけて、低気圧が北海道付近を通過して千島の東へ進む。
- 11日から13日にかけて、前線が日本の南から沖縄付近へのびる。
- 13日から14日にかけて、高気圧が日本の東へ移動する。

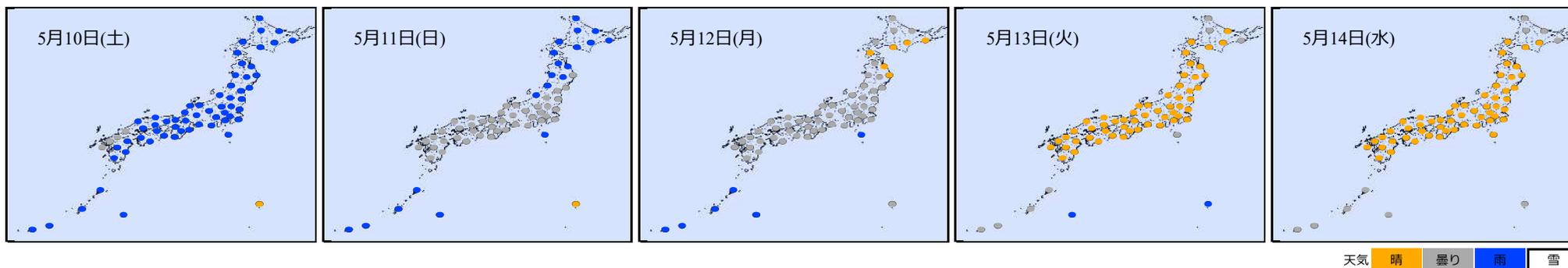
## ＜防災事項＞ 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- 10日頃は、低気圧が日本海を北東へ進み前線が日本付近を通過する。低気圧や前線の活動の程度によっては東日本から西日本にかけての太平洋側を中心に警報級の大雨となるおそれがある。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

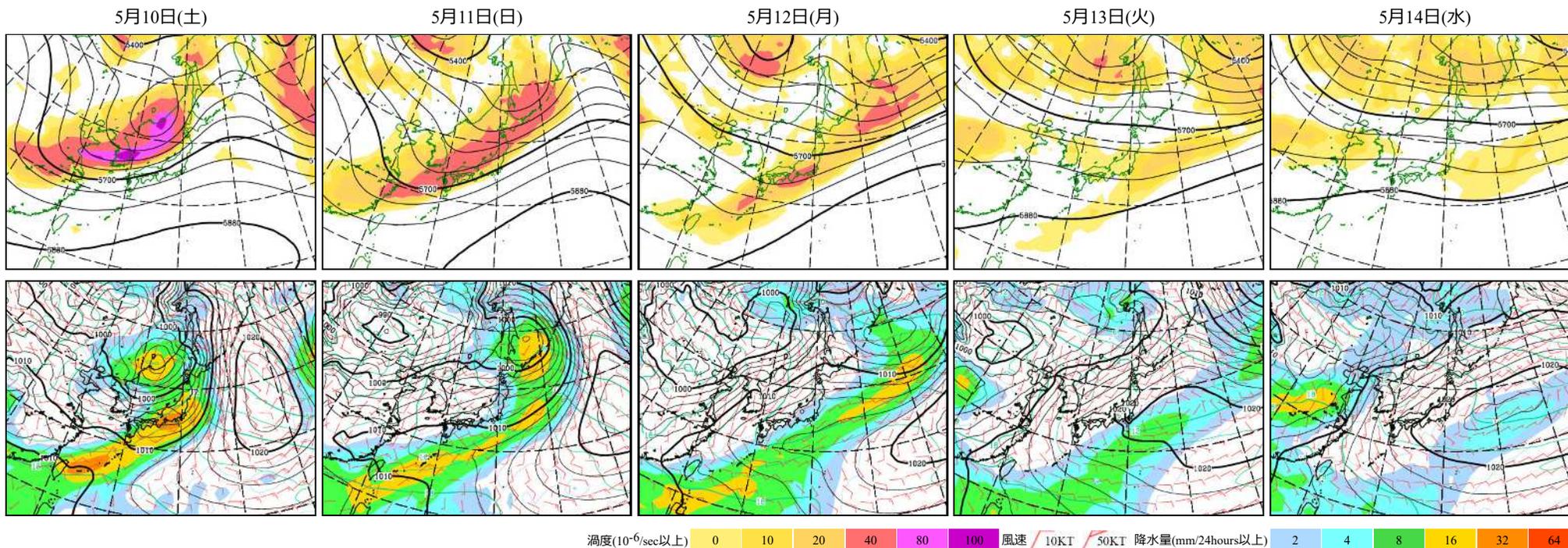
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

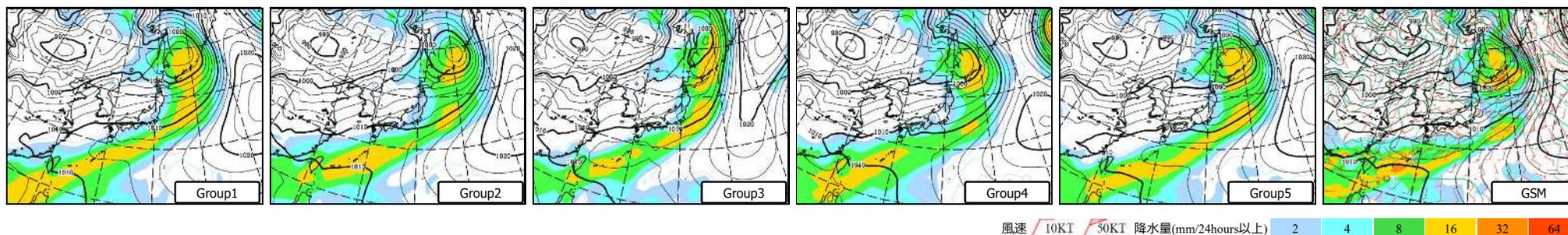


- 北日本と東日本は、10日から11日にかけては曇りや雨の降る所が多いが、12日以降は晴れまたは曇りとなる。
- 西日本は、10日は雨の降る所が多いが、11日以降は晴れまたは曇りとなる。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆5月11日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、10日は沿海州付近を東進する寒冷渦が昨日より南寄りのコースを進み、日本海を北東進する低気圧の勢力が強まり、日本付近を通過する前線の活動も強まった。12日以降は本州付近の気圧が高くなった。
- スプレッドは比較的小さいが、期間の後半は特定高度線のばらつきが大きい。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。

今日から明日までの解説は「短期予報解説資料」を参照ください。